

道外研修 東北コース(4日目)

報告者：1年C組3番日下大地、1年D組14番寺崎魁人

～語り部バス～

最終日に「語り部バス」というものに乗りました。

語り部バスとは、南三陸ホテル観洋が「震災を風化させない」というスロー



防災対策庁舎

ガンのもと、語り部ガイドの方が南三陸町をバスで案内するものです。小中学校に大きな爪痕を残した南三陸町戸倉地区、館内全員を屋上に誘導したことで300名以上の命を救った高野会館、屋上を2m以上も上回る津波が襲い、骨組みと床だけになり多くの方が亡くなってしまった防災対策庁舎の3つを回りました。



高野会館

テレビでは、復興された街が大きく報道されているので、そのような街を想像する人も多いと思います。しかし、実際に見てみると街に人影がなく、かさ上げされた街は建物が無いのでさびしく見えました。現地に行かないとわからないことも多くとても良い経験になりました。

～大川小学校～

この小学校は北上川の沿岸部にある小学校です。震災時、学校の裏山に避難するか、北上川にかかる橋に避難するか、教員らで話し合いがもたれました。山が急で崩れる危険性があったため、北上川にかかる橋に避難した結果、想像を超える津波が来て、これに巻き込まれてしまいました。

校舎の壁や天井は崩れ落ちていて、地震と津波の悲惨さを物語っていました。津波の高さ・津波が与える被害の大きさなど、実際にその場所に行かないとわからないことがたくさんありました。



震災後の庁舎